

地域支え合いセンター



丸森町社会福祉協議会
マスコットキャラクター
うぐたん

抽選会



▲抽選会に参加された方々は、はじめは少し緊張した様子でしたが、次第に穏やかな雰囲気になっていきました。

8月29日（日）午前9時から丸森まちづくりセンターを会場に、神明北地区に整備される災害公営住宅と神明地区に建替え整備される町営住宅に係る抽選会が行われました。

入居希望が重複したのは、災害公営住宅が8部屋、町営住宅が18部屋。エレベーターに近かったり角に位置する部屋の人気が高く、多いところは7世帯の申込みが重なりました。

再抽選、再々抽選と進み、抽選会が終了したのは午前10時30分でした。

なお、竹谷地区（戻り世帯）については申込みに重複がなかったことから、抽選会は行われませんでした。

災害公営住宅（神明北）・町営住宅（神明）

抽選会の後は、それぞれの地区ごとに入居予定世帯が集まり、初めての顔合わせ会『ご近所さん、こんにちは！』が実施されました。

町営住宅は、令和元年東日本台風時に神明町営住宅で被災した方の戻り入居が中心のため、顔見知りとの再会を懐かしむ場面が見られました。一方、災害公営住宅は町内各地区で被災した方々が入居するので、顔合わせ会もちょっと緊張気味にスタート。

大きな地図を使って、それぞれ入居予定の部屋に名前を記入し、これからの暮らしに期待することなどについて将来のご近所さんたちと意見交換を行いました。

入居者顔合わせ会



▲ご近所さん同士のグループに分かれて、まずは自己紹介！さらにお隣さん同士で、笑顔でご挨拶。終始和やかに交流会が行われました。

丸森地区まちづくりセンターのまなびの森移動教室は、毎週火曜日に開催しています。

現在、小学生7人、中学生7人の登録があり、小・中学生で部屋を分けて勉強しています。小学生スペースには主任児童委員の方々がサポートに入ってくださっていて、一緒に本を読んだりおしゃべりをしたりと、学校でもなく家庭でもない“第3の居場所”として、それぞれの時間を過ごしています。



『これって虐待？』研修開催

被災に加えてのコロナ禍により、生活に関する不安やストレスが蓄積され、虐待の増加が危惧されています。SOS（サイン）にいち早く気づき、理不尽な環境下に置かれる人を一人でも減らすことが出来ればと、8/20(金)民生委員・児童委員と被災者支援事業従事者を対象に、児童虐待・DV・高齢者虐待などについて考える研修会を開催しました。



夏！スイカ割り！！

オペレーション・ブレッシング・ジャパンが仮設団地集会所で行っているサロンで、スイカ割りが行われました。「コロナ禍で行動が制限されて夏らしい

ことが一つも出来なかったから、本当に感激。懐かしいわ。」との声も。皆さん、束の間の夏休み気分を味わっていました。



金山地区かき氷作戦



8/19(木)金山まちづくりセンター駐車場を会場に、丸森屋台プロジェクトの皆さんによるかき氷の提供がありました。『わ～嬉しい。かき氷なんて何年ぶりか食べるだろう』『今年はコロナで何にもなくて、僕本当に楽しみにしていたんだ』明るい声が溢れました😊

